基本構想

第1章 魅力ある郷土をほこれるまち …… 34
第2章 市民と行政が協働するまち …… 38
第3章 みんなで創る安全なまち …… 48
第4章 だれもが安心して健康に暮らせるまち …… 60
第5章 自然の豊かさがあふれるまち …… 72
第6章 活力ある産業が育つまち …… 80
第7章 便利で快適な人にやさしいまち …… 90
第8章 地域に根ざした教育・文化のまち …… 108
第9章 効率的でわかりやすい行財政 …… 120
第10章 リーディング・プロジェクト …… 126



熊谷草

第1章　魅力ある郷土をほこれるまち

施策1 全国に発信できる特色をつくる

現状と課題

都市間競争が激しさを増している現在、地域の魅力と特性を生かした個性的なまちづくりが求められています。

本市には、日本屈指のラグビー専用グラウンドである県営熊谷ラグビー場、本州一の収穫量を誇る麦類の生産、少ない自然災害、日本一の快晴日数、滑空時間・飛行回数が日本一の妻沼グライダー滑空場など、全国に誇れるものがあります。



また、熊谷銘菓「五家宝」、細長い特徴のある形をした「めぬまのいなり寿司」、荒川の伏流水を使って仕込んだ「清酒」などの名産品や、「熊谷染」など伝統的な匠の技が育んだ魅力ある工芸品があります。



「あついぞ！熊谷」
シンボルキャラクター
「あつべえ」

最近では、熊谷産小麦を原料とする「熊谷うどん」、熊谷のおいしい水を使ったかき氷「雪くま」、小家族には最適な大きさのミニ野菜「ミニくま」といった情報発信を意識して開発された新たな産品もあります。

更に、全国規模のスポーツ大会である「全国高校選抜ラグビー大会」、「全日本学生グライダー競技選手権大会」、「高校女子サッカー大会（めぬまカップ）」が毎年行われ、多くの若者達に熊谷を発信しています。



全国的に有名な夏の暑さを、人やまちの活力に変えていこうという「あついぞ!熊谷」の取組みが広く認知される中、平成19年8月に40.9度の国内最高気温を記録し、名実ともに日本一暑いまちとなりました。

今後は、暑さ対策やヒートアイランド対策に取り組むとともに、本市の長所や特色を市民・事業者と一体となって活用し、魅力ある郷土を誇れるまちをつくる必要があります。

基本方針

豊かな自然や伝統的な匠の技がはぐくんだ魅力ある名産品や、新たに生み出した産品等による情報発信のほか、全国的なスポーツ大会の継続開催や招致により、熊谷を全国に発信します。

施策の体系

全国に発信できる特色をつくる ― 全国に発信できる特色をつくる

単位施策

❶全国に発信できる特色をつくる

熊谷の誇れるものや産品をマスメディア等を利用して広告・宣伝し、全国に発信できる特色として確立させるとともに、活用していきます。

主な事業

- 熊谷ブランド創造事業
- 「あついぞ!熊谷」まちづくり事業
- ヒートアイランド対策事業
- イメージアップ事業（さくら、ラグビー、まつり、星川）
- グライダー振興事業
- 大規模スポーツ大会の招致

成　果　指　標	現　状　値	めざそう値 5年後	めざそう値 10年後
熊谷市が全国に誇れるものの数	50	60	70
「雪くま」「ミニくま」を知っている市民の割合	56%	80%	95%

施策2　歴史再発見のまちを推進する

現状と課題

本市は、歴史と伝統が息づくまちです。

埼玉の小日光と称され縁結びで知られる国指定重要文化財「歓喜院聖天堂」、学業成就で知られる「文殊寺」、国指定史跡「宮塚古墳」など貴重な文化遺産があります。

また、日本一の剛の者と言われた「熊谷次郎直実」、日本の女医第一号である「荻野吟子」など多くの偉人を輩出してきました。

関東一の祇園「熊谷うちわ祭」を筆頭に、地域に根づいている各種お祭り、県内で最も歴史のある「熊谷花火大会」、さくらの名所100選に選ばれている「熊谷桜堤」、憩いとふれあいの拠点となっている「星川シンボルロード」など、多くの市民が支えはぐくんできた行事や名所があります。

これら、先人達が営々と築いてきた歴史と伝統を再確認し、新たな発見を地域活性化の起爆剤につなげていく必要があります。

一方、多くの人に本市を訪れていただくため、文化遺産や名所などを観光資源としてとらえ、周遊コースを設定したり、「歓喜院聖天堂」の大改修の完成に合わせて周辺整備を進めるなどして、年間を通して誘客を図る必要があります。


星川シンボルロード


熊谷うちわ祭


熊谷花火大会

基本方針

熊谷うちわ祭などの各種祭りの一層の充実、振興を図るとともに、由緒ある神社仏閣などの郷土の魅力を有効活用し、情報発信することにより観光交流を推進し、地域の活性化を図ります。

施策の体系

歴史再発見のまちを推進する ― 地域の文化や観光資源を活用する

単位施策

② 地域の文化や観光資源を活用する

伝統行事である「熊谷うちわ祭」や「熊谷花火大会」など各種まつりの充実に努めるとともに、歴史的建造物の保護や、周辺整備を行い、ネットワーク化を図るなど、既存観光資源を有効に活用します。



修復作業が進む歓喜院聖天堂
(国指定重要文化財)

主な事業

- 観光振興事業
- 観光行事推進事業
- 物産振興事業

成　果　指　標	現　状　値	めざそう値 5年後	めざそう値 10年後
入込観光客数(暦年)	4,104千人 (H17.1.1～H17.12.31)	4,700千人	5,200千人



平山家住宅
(国指定重要文化財)